

---

令和7年度ふれあい活動委嘱事業  
親子ふれあいデー活動  
(まとめ報告書)



熊本県PTA連合会

---

## 目次

### ☆委嘱校

### ☆活動報告

1. 玉名市立高道小学校PTA . . . 1~2
2. 玉名市立玉名中学校PTA . . . 3
3. 山鹿市立八幡小学校PTA . . . 4
4. 山鹿市立鹿北小学校PTA . . . 5~7
5. 山鹿市立山鹿中学校PTA . . . 8~9
6. 菊池市立菊池南中学校PTA . . . 10~11
7. 合志市立西合志第一小学校PTA . . . 12
8. 合志市立合志南小学校PTA . . . 13
9. 大津町立美咲野小学校PTA . . . 14
10. 菊陽町立武蔵ヶ丘北小学校PTA . . . 15~17
11. 御船町立七滝中央小学校PTA . . . 18
12. 益城町立木山中学校PTA . . . 19
13. 宇土市立網田小学校PTA . . . 20
14. 上天草市立登立小学校PTA . . . 21
15. 上天草市立姫戸小学校PTA . . . 22
16. 天草市立楠浦小学校PTA . . . 23
17. 天草市立倉岳小学校PTA . . . 24~25
18. 天草市立佐伊津小学校PTA . . . 26~27
19. 芦北町立湯浦中学校PTA . . . 28~29
20. 人吉市立人吉東小学校PTA . . . 30~31
21. 人吉市立東間小学校PTA . . . 32
22. 人吉市立第一中学校PTA . . . 33
23. あさぎり町立岡原小学校PTA . . . 34~35

## 委嘱校

	ブロック	エリア	単位PTA名
1	県北	玉名市	玉名市立高道小学校PTA
2		玉名市	玉名市立玉名中学校PTA
3		山鹿市	山鹿市立八幡小学校PTA
4		山鹿市	山鹿市立鹿北小学校PTA
5		山鹿市	山鹿市立山鹿中学校PTA
6		菊池市	菊池市立菊池南中学校PTA
7		合志市	合志市立西合志第一小学校PTA
8		合志市	合志市立合志南小学校PTA
9		菊池郡	大津町立美咲野小学校PTA
10		菊池郡	菊陽町立武蔵ヶ丘北小学校PTA
11		上益城郡	御船町立七滝中央小学校PTA
12		上益城郡	益城町立木山中学校PTA
13		県南	宇土市
14	上天草市		上天草市立登立小学校PTA
15	上天草市		上天草市立姫戸小学校PTA
16	天草郡市		天草市立楠浦小学校PTA
17	天草郡市		天草市立倉岳小学校PTA
18	天草郡市		天草市立佐伊津小学校PTA
19	葦北郡		芦北町立湯浦中学校PTA
20	人吉市		人吉市立人吉東小学校PTA
21	人吉市		人吉市立東間小学校PTA
22	人吉市		人吉市立第一中学校PTA
23	球磨郡		あさぎり町立岡原小学校PTA

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和7年度

単位PTA名 ( 玉名市立高道小学校PTA )		児童生徒数 ( 177 ) 人	
<b>1. 予算執行状況 (収入・支出)</b>			
(収入)	県P ¥20,000- 単P ¥35,000- その他 ¥ 0- 合計 ¥55,000-	(支出)	地引網行使料 ¥55,000- 合計 ¥55,000-
<b>2. 活動内容・成果・反省</b>			
<p>◎活動内容</p> <p>【目的】 高道小校区周辺において、地域の方々が昔から行われている地引網漁を体験することで、有明海にはどのような海洋生物が生息しているのか、また捕れた海産物を地元ならではの調理法で調理し食してみても親子で触れ合うことを目的とした。</p> <p>【内容】 地元、地引網保存会の方々のご協力のもと砂浜の海岸沖合に地引網を仕掛け参加者全員（親子）で網を岸まで引っ張る。</p> <p>【日時】 令和7年6月29日（日） 午前7：00～午前11：30頃まで</p> <p>【場所】 玉名市岱明町鍋松原海岸 住所：玉名市岱明町鍋2320-56</p> <p>【対象】 高道小学校PTAの児童及びその保護者</p>			
<p>◎成果</p> <p>当日は朝から晴天に恵まれ、心地よい潮風の中で予定通り「高道小PTA親子ふれあいデー地引網体験会」を実施することができました。</p> <p>受付を済ませた子どもたちは、浜辺を走り回ったり、波打ち際で遊んだり、始まる前から大変にぎやかな雰囲気でした。</p> <p>地元地引網保存会の方から地引網の仕組みや漁の方法について説明を受けたあと、いよいよ全員で協力して網を引きました。</p> <p>子どもたちは「よいしょ、よいしょ！」と掛け声を合わせ、保護者の方も汗をかきながら一緒に網を引いていました。</p> <p>最初は動かなかった網も、みんなで力を合わせるうちに少しずつ手応えがあり、網の中にキラキラと魚の姿が見えると、あちこちから歓声が上がりました。</p> <p>網の中には、さまざまな海の生き物が入っていました。</p> <p>子どもたちは恐る恐る手で触ったり、漁師さんに名前を聞いたりして、海の生き物に興味津々でした。</p> <p>「こんな魚がこの海にいるんだ！」「カニが動いた！」といった驚きや喜びの声があがり、まさに“生きた学び”の時間となりました。</p> <p>保護者の方々からは、</p> <p>「子どもが本当に楽しそうだった」</p> <p>「親子で協力できる貴重な時間だった」</p> <p>「地元の海にこんなに多くの生き物があると知って感動した」</p> <p>などの感想が寄せられました。</p> <p>また、子どもたちからも、</p> <p>「魚を自分でとれてうれしかった」</p> <p>「もっとやりたい！」</p> <p>「今度は家族全員で参加したい」</p> <p>といった元気な声が多く聞かれました。</p> <p>全体を通して、子どもたちは自然の中で多くを学び、親子での協力や地域のつながりを深める貴重な機会となりました。</p> <p>地元の方々の協力や、準備をしてくださった関係者のおかげで、安全に楽しく活動を終えることができました。</p>			

◎反省

1. 集合時間

集合時間が早朝だったことや、駐車場から会場までの移動距離が長かったので開始時間に間に合わないご家庭が複数ありました。タイムスケジュールの改善。

2. 安全面

波打ち際で走り回り、転倒する子が見られました。

見守り担当の配置、数を増やす。

3. 熱中症予防

快晴で気温が上がり日差しが強かったため、子どもや保護者の中には「途中で休みたい」という声も聞かれました。

3. 今後の取り組みについて

今回の「高道小PTA親子ふれあいデー地引網体験会」は、参加者の満足度も高く、地域と学校が一体となった良い活動となりました。

今後は、安全・学び・地域連携・継続性を意識した取り組みを進め、より多くの親子が安心して楽しめる行事として発展させていきたいと考えています。

4. 要望・その他

令和7年度「親子ふれあいデー活動」に応募し、委嘱をお受けできことに大変感謝いたします。

今後も継続して活動を広め、PTAの良い部分を皆さんと共有できればと存じます。

5. 風景画像



# 親子ふれあいデー活動報告書

令和8年度

単位PTA名（玉名中学校PTA） 児童生徒数（665）人 活動対象者（20人）						
1. 予算執行状況（収入・支出）						
<table border="0"> <tr> <td>（収入） 県P：¥20,000</td> <td>（支出） ピザ材料費 ¥15,000</td> </tr> <tr> <td>          単P： なし</td> <td>          施設使用料 ¥3,000</td> </tr> <tr> <td>          その他：なし</td> <td>          講師謝金 ¥2,000</td> </tr> </table>	（収入） 県P：¥20,000	（支出） ピザ材料費 ¥15,000	単P： なし	施設使用料 ¥3,000	その他：なし	講師謝金 ¥2,000
（収入） 県P：¥20,000	（支出） ピザ材料費 ¥15,000					
単P： なし	施設使用料 ¥3,000					
その他：なし	講師謝金 ¥2,000					
2. 活動内容・成果・反省						
<p>◎活動内容 テーマ  <b>【親子でふれあい食育&amp;防災を学ぶ！ペットボトルピザ作り体験】</b></p> <p>対象：玉名中学校に在籍する親子30組程度          目的：親子で楽しめるコミュニティ活動で、学校では学ばない「生きる力」自立を育みます。ピザ生地作りから焼き上げまでを自分で手作りし、安心安全なピザをみんなで食べることにより、楽しく！美味しく！食育&amp;防災について学び「気づきや成果」につなげる。ピザの材料には地元の食材を使用し、地元食材への興味関心や特産品の理解にもつなげる（地産地消）。ペットボトルでピザ生地を作り（作る→食育）電気・ガスがなくても廃材や炭を燃料にしてダンボールオーブンで焼き上げる。温かい食事の提供（焼く→防災）</p>						
<p>◎成果</p> <p>子ども大人も楽しめる参加体験型の食育&amp;防災活動で、子どもの年齢・学年、保護者間のつながり、各世代間には関係なく、全ての参加者が食育&amp;防災について楽しく・美味しく学ぶことができる。親子で一緒に体験することでコミュニティが深められ大きな「気づき」が得られる。          ※災害時避難所に真っ先に届くのが、ペットボトルと段ボールであり、その材料を有効活用するようにして、温かい食事を経験に基づき調理し、食すことができる。（温かい食事は重要！）専用の調理器具は一切使用せず、ペットボトルでピザ生地を作り、電気・ガスを使用せず、段ボールオーブンでピザを焼き上げる作業は、災害時の防災訓練にもなり、「生きる力」自立を育む推進活動でもある。小麦粉は玉名産の強力粉を使用し、ピザソースは玉名産のトマトを使用するなど、この活動を通して、親子で食育&amp;防災に関し楽しく学ぶ機会は今後も必要で、心に残る成果として継続的に進めていきたい！</p>						
<p>◎反省</p> <p>まだ実施しておりません。</p>						
3. 今後の取り組みについて						
令和8年2月28日を開催予定。						
4. 要望・その他						

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和7年度

単位PTA名（ 山鹿市立八幡小学校PTA ）	児童生徒数（186）人
1. 予算執行状況（収入・支出）	
（収入） 県P 20,000円 単P 20,000円	（支出） 40,000円
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 秋祭り                      10月25日（土）PTA主催の「ふれあい秋祭り」を実施した。体育館をメインステージに、マジックショーや紙飛行機とぼし大会、空き缶積み上げ大会等、様々なイベントを実施した。また、PTA主催のヨーヨー釣りやお菓子のつかみ取り等5つ出店した。あわせてキッチンカーを5台招き、駐車場に長机、椅子を出して誰でも利用できる飲食スペースとした。たくさんの児童や保護者、地域の方々が参加して交流を深めることができた。</li> <li>○ PTA学年レクリエーション                      学年委員を中心にレクリエーションの内容を検討し、児童と保護者、職員で楽しく活動する機会を設けた。親子の触れ合いや親同士の親睦を深めることができた。</li> <li>○ 読み聞かせ                      隔週金曜日の朝活動の時間に、保護者や地域住民による読み聞かせを実施している。児童が本に親しむ貴重な機会となっている。</li> </ul>	
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学年レクリエーションでは、学年委員（保護者）を中心に内容を計画し、親子や親同士のつながりを大切にしたい取組を実施した。学級のまとまりを高めるイベントとなった。</li> <li>・ PTA奉仕作業や資源回収リサイクル活動、読み聞かせ等、親子で活動するイベントに学校職員も関わり、職員と児童、職員と保護者の連携、協力体制をより一層強めた。</li> <li>・ PTA行事の内容を学校だよりや学級だよりで発信しPTA活動啓発につなげた。</li> </ul>	
<p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ PTA主催の様々なイベントの終了後に、学校だよりや学級通信等の紙媒体による情報発信を行った。より多くの方々に取組の様子を知っていただくために、今後は連絡アプリ活用等、デジタル機器を活用した発信方法を検討する必要がある。</li> </ul>	
3. 今後の取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年度5年振りに秋祭りを実施した。以前は焼き鳥屋、かき氷屋、焼きそば屋等、飲食店を中心に保護者や役員が出店していたが、負担が大きかったという反省が上がっていた。そこで今年度は負担軽減を考慮し、じゃんけん大会や空き缶積み競争、紙飛行機とぼし大会等、準備が簡単で手軽にできる催しを実施した。秋祭り後の役員の感想としては、負担軽減にはつながったという意見のほかに、祭りそのものの楽しさや盛り上がりはもうひとつではなかったかという意見もあった。また、準備や計画のために何度も集まって話し合う必要があり、負担軽減につながっていないという意見もあった。今後の秋祭りの在り方について、保護者や地域の方の意見を大切にしながら、多くの方々が気軽に楽しく参加できるようにするために、さらに検討していく必要がある。</li> </ul>	
4. 要望・その他	
要望は特にありません。県PTAからの活動費は、本校において貴重な予算となっており大変感謝しております。ありがとうございました。	

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和7年度

単位PTA名 ( 山鹿市鹿北小学校PTA ) 児童生徒数 ( 123 ) 人

## 1. 予算執行状況 (収入・支出)

(収入) 県P : 20,000円  
単P  
その他

(支出) : 20,000円  
農業同志会謝礼、餅つき材料代

## 2. 活動内容・成果・反省

### ◎活動内容

本年度、5年生児童を対象に、田植え・稲刈り・餅つきの一連の農業体験活動を実施しました。

### ◆田植え (6月30日実施)

- 5年生とまほろば保育園の年長児が参加。
- 地域の農業同志会の方々に指導を受けながら田んぼに入り苗を植える体験。
- 年長児とのペア作業で互いに教え合う協力の姿勢を育むことができました。
- 田植えの経験を通して、食べ物が育つ過程や自然との関わりを学ぶことができました。



◆稲刈り（10月27日実施）

- 田植えで育てた稲を収穫。
- 5年生と年長児がペアで鎌の使い方を学びながら稲を刈り運搬。
- 地域の方々のサポートで安全に効率よく作業。
- 子どもたちは収穫の喜びを体感し、自然の恵みや努力の成果を実感。



◆餅つき（12月23日実施）

- 田植え・稲刈りで収穫したもち米を使用。
- 5年生と保護者で親子餅つき。
- 家庭科室で餅米を蒸し、ランチルーム外で杵を使用して餅つき。
- 出来立ての餅を皆で味わい、家庭・学校・地域のつながりを実感。



◎成果

- 子どもたちが田植えから収穫、餅つきまで体験することで食べ物が育つ過程や自然との関わりを学んだ。
- 年長児や保護者、地域の方々との共同作業を通して協力する姿勢や社会性が育まれた。
- 活動を通じて児童・保護者・地域の関係が強化され、広い人間関係を育むきっかけとなった。
- 親子での体験により家庭内でのコミュニケーションや児童の自己肯定感向上につながった。

◎反省

- 田植え・稲刈りにおいて保護者への参加呼びかけが十分でなかった点があった。
- 今後は、保護者が参加できる時間帯や作業分担の工夫を検討する必要がある。

**3. 今後の取り組みについて**

下記工夫などを取り入れ、継続していきたい。

- 料理体験や収穫物を活用した学習活動を取り入れ、食育をより充実。
- 異年齢交流を拡大し協力や思いやりの精神を育む。
- 安全面強化として準備運動・休憩・作業指導体制を工夫。
- 家族で参加することで学校・家庭・地域のつながりを深める取り組みを継続。

**4. 要望・その他**

本活動は家庭・学校・地域のつながりを深める貴重な事業であり、今後も嘱託事業として継続していただきたいです。特に昨今はPTAの活動費が不足しがちであるため、2万円の補助は非常に助かります。今後もこの支援を活用し、児童と保護者、地域と一緒に学び・交流できる活動を継続していきたいと考えています。

# 親子ふれあいデー活動報告書

2025年度

単位PTA名 ( 山鹿市立山鹿中学校 ) 児童生徒数 ( 743 ) 人

## 1. 予算執行状況 (収入・支出)

(収入)	県P	20,000円	(支出)	非常食代	27,108円
	単P	7,108円			
	その他				
		<u>27,108円</u>			<u>27,108円</u>

## 2. 活動内容・成果・反省

### ◎活動内容 「山鹿中学校ふれあい防災キャンプ」

#### 1 目的

- (1) 学校・保護者・地域・関係機関が連携し、災害発生時の危機管理について学ぶとともに、防災訓練や避難所生活を想定した避難所運営体験、応急処置訓練等を含む総合的な体験学習を実施し、生徒が災害発生時において、正しい知識をもとに的確に状況を判断し、自ら安全に行動することはもとより、他の人や社会に貢献できる心と実践力の育成を図る。
- (2) 自然災害の発生メカニズムをはじめとして、地域の自然環境、災害や防災についての基礎的・基本的事項を理解できるようにする。
- (3) 災害時における危険を認識し、状況に応じ自らの安全を確保するための行動ができるようにする。
- (4) 被災時を想定した生活体験や防災教育プログラムを実施することにより、防災の知識を体験的に身につけさせるとともに、自助意識を身につけさせる。

#### 2 内容

- (1) 防災アトラクション① 避難所運営ゲーム (HUG)
- (2) 防災アトラクション② 心肺蘇生法・AED体験
- (3) 防災アトラクション紹介 段ボールベッド紹介
- (4) ふれあいタイム：振り返り「災害への備え」・防災カレー試食会

### ◎成果

体験を通じて、災害時における冷静な判断力と、一人ひとりの行動が命を救う力になることを学ぶことができた。これらの知識とスキルを身につけておくことは、自分自身や大切な人を守ることに繋がってくる。参加者の皆さんの真剣な姿勢と、仲間と協力する姿が大変印象的だった。また、参加者より「自分の能力低下が体験として見えたと共に、中学生が頼もしくて、嬉しかった。トイレに行くのを待って、移動先へ案内してくれたのがすごく嬉しかった。」という声があり、地域とのつながりの良さを感じることができた。

自分の能力低下が体験として見えたと共に、中学生が頼もしくて、嬉しかった。トイレに行くのを待って、移動先へ案内してくれたの、すごく嬉しかった。

山鹿市立山鹿中学校

#### (4) 地域と学校の連携・協働



#### ふれあい防災キャンプ

今回のキャンプでは、もしもの災害に備え、地域の方々との交流 (ふれあい) を深めながら、防災の知識と技術を学ぶことを目的としました。

#### (4) 地域と学校の連携・協働



#### ふれあい防災キャンプ

アトラクション①：避難所運営ゲーム (HUG)

中学生だけでなく小さくとも出来るのが、高齢者が混じることで、そうそう上手くはいなくなったりするのもいいことだったかも。更にいろんな世代が入ることで、より現実に近い体験が出来るのではと思った。(山鹿地区地区長様より)

◎反省

今回、地域との『ふれあい』ををテーマに防災キャンプを行ったが、「災害時における地域交流」や「地域コミュニティの希薄化」が課題としてあげられる。

また、一時的な対策ではなく、日常的に防災意識を持ち続けることが大切であるが、キャンプの何が被災時に役立つのかをあまり考えていない傾向があった。防災キャンプの体験イコール楽しい体験というイメージが先行し、生徒向けの体験活動として、「楽しかった」「いい経験になった」で終わってしまうことが考えられる。それでは学びの継続性が期待できず、単発的な学びになってしまうと考えられる。

3. 今後の取り組みについて

防災キャンプを開催する際には、できるだけ対象者を分けずに、年齢・性別・家族構成・災害時援護の必要性の有無などを問わず、広い範囲の対象者に対して開催することが理想的であると考えられる。それを踏まえた上で、今後は交流の更なる促進や多世代交流の場づくり、近隣の企業など多様な主体との連携が解決策として模索される。

4. 要望・その他

助成をいただくことで、今回の活動が生徒たちにとってより良い教育活動につながっていると感じています。ありがとうございました。



◎成果

- 地震防災対策の学習及び訓練の一環として中学生を中心に南中が避難所になった時に何ができるかを地域の方と体験をすることを目的として、防災意識の高揚を図ることができた。
- 地域住民の一員である自覚を促すことができた。
- 生徒に対する事前指導を充実させたことにより、地域住民との接し方、緊急時の心構えや行動の仕方等をより確かなものにすることができた。
- 1年間を通して各委員会で計画を立てとりくみ活動することができた。

◎反省

- 防災訓練の実施状況について様々な視点から分析し、生徒の防災意識を高める活動を工夫するとともに、改善策を地域住民と共有する手だてを講じていく必要がある。
- 今回の活動を通して、避難場所では中学生にも多くの役割があり、地域の力になれることを実感した。受付や物資運び、声かけなど、自分たちにできることは想像以上に多かった。一方で、指示を待ってしまう場面があり、状況を見て自分から動く力がまだ不十分だと感じた。今後は防災への理解を深め、地域の一員として責任を持って行動できるよう意識していきたい。

3. 今後の取り組みについて

- 今回の学習を通して、中学生も避難所で役割を果たせることを実感した。今後は、地域の方との連携方法や基本的な支援の手順をさらに理解し、状況に応じて自分から動ける力を身につけたい。継続的に防災意識を高めていく。

4. 要望・その他

- 今回、PTA親子ふれあいデーの一環として補助金を活用し、「中学生に避難場所で何ができるか」をテーマとした地域学校協働活動を実施した。活動を通して、生徒が地域の一員として防災に関わる意識を高める良い機会となった。一方で、避難所運営の具体的な手順や役割分担について、さらに学ぶ機会があるとより理解が深まると感じた。今後も地域と学校が連携し、継続的に防災教育を進められるよう、引き続き支援と協力をお願いしたい。

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和7年度

単位PTA名（西合志第一小学校） 児童生徒数（100）人

## 1. 予算執行状況（収入・支出）

（収入） 県P : 20,000円  
単P : 21,765円

（支出） PTAレクリエーション : 36,969円  
（参加賞、景品）  
愛校作業 : 4,796円  
（燃料代）

## 2. 活動内容・成果・反省

### ◎活動内容

#### 1. 親子愛校作業

5月10日、8月23日、11月15日

先生、親子、地域の方々参加で学校敷地内の草取り、清掃活動を実施

#### 2. 親子PTAレクリエーション

11月15日に行事活動委員さんを中心とし、PTAの交流会を実施

『ドッチビー』『お楽しみ抽選会』

#### 3. 給食試食会

11月に各学年の教室にて『親子で給食試食会』を実施

### ◎成果

毎日お世話になっている校舎の周りや校庭を親子で一緒になり草取りや清掃を行った。地域の方々にもご協力いただき、刈払い機などを利用し手作業では出来ない箇所もきれいになった。PTAレクリエーションでは、行事活動委員さんを中心に企画・準備・運営を行い、ドッチビーとお楽しみ抽選会を実施し保護者、児童、教職員で盛り上がる事ができた。

給食試食会では自校方式の給食を自分の子供の教室で一緒に食べることができ、普段の給食指導の様子も含めて交流ができた。

### ◎反省

愛好作業については、任意ではあるものの集まりも良く、来年度も続けていこうと思う。今後も各保護者や先生方、地域の方々からの意見を集め、より児童のためになる活動としていければよいと思う。レクリエーションについてはコロナ明けの昨年より参加者も増えたのでよかった。来年以降も委員さんを中心に盛り上げていきたいと思う。

## 3. 今後の取り組みについて

次年度以降も保護者間と子どもたちとのコミュニケーションをとれるようにレクリエーションを継続していきたい。また、現在平日や休日の地域コミュニティ活動に児童が参加していることもあるので、そういった場面に保護者の参加も増えていけるようにPTAとしての声掛けを続けていきたい。

## 4. 要望・その他

県PTA連合会様の助成をいただくことで、PTA活動も子どもたちにとってより良い教育活動につながっていると感じています。

# 親子ふれあいデー活動報告書

年度

単位PTA名 ( 合志南小学校 ) 児童生徒数 ( 717 ) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円 単P 0円 その他 0円	(支出) 20,000円
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <p>親子で取り組む「朝ごはんコンクール」を実施した。親子で協力して朝ごはんを作り、その作品を写真や絵で紹介し、感想や工夫した点を添えて提出する形式とした。応募作品の中から「PTA会長賞」や「校長賞」を選考し、賞状と副賞(図書カード)を授与した。</p>	
	
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と保護者双方の感想を募ることで、家庭内でのコミュニケーションや調理の工夫が可視化され、食育への関心を高めることができた。</li> <li>・高学年の児童においては、家庭科の学習を活かした栄養バランスや彩りへの配慮が見られ、実践的な学びの場となった。</li> </ul>	
<p>◎反省</p> <p>PTAと先生との連携不足により募集期間が短くなってしまった。時間的に余裕をもって実施できるように来年度以降は調整したい。さらに、応募数を増加させるための表彰や、周知の仕組みが必要だと感じた。デジタルでの募集なども検討していきたい。</p>	
3. 今後の取り組みについて	
<p>児童・保護者双方から非常に好評を得ているため、今後も継続して実施していく。さらに多くの児童が参加できるように、入賞作品の校内展示やPTA広報誌での紹介など、周知方法を工夫していきたい。</p>	
4. 要望・その他	
<p>食を通じた親子のふれあいは、家庭教育の基盤となる非常に意義深い取り組みであると感じている。今後も本活動を継続し、学校・家庭・地域が連携した食育を推進していきたい。</p>	

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和7年度

単位PTA名 ( 大津町立美咲野小学校 PTA )	児童生徒数 ( 500 ) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円 単P 300,000円	(支出) わっしょい祭り必要経費 320,000円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 日時: 令和7年10月18日(土) 10:00~13:00 場所: 美咲野小学校体育館・校内・運動場 参加者: 美咲野小学校の児童・保護者・先生 活動名: 美咲野小学校わっしょい祭り (PTA 発信のおまつり)	
	
◎成果 お祭りを成功させるために、昼休みを利用して、看板やゲームの材料の制作をしたり、お祭り当日には自分たちで商品を販売するなど、児童が参画し「自分のためにみんなのために」活動できるお祭りとなった。また、天災に備え、防災ボトルの制作やアルファ米の炊き出し訓練を兼ね、防災についても学べる良い機会となった。	
◎反省 児童参画型にすることで、準備に関してはどうしても保護者の負担は多くなってしまいが、とてもいい経験のできる場ではあるので、負担と成果の折り合いを調節していきたい。	
3. 今後の取り組みについて 毎年恒例のイベントなので、今年の実験を活かして更にアップデートしたい。	
4. 要望・その他 令和7年度「親子ふれあいデー活動」の委嘱を受け、当イベントが無事開催できましたこと、心より感謝申し上げます。企画して準備することはとても大変ではありますが、児童・保護者・先生がふれ合えるととても良い活動だと思っております。 今後もぜひ、今回のような取り組みに協力をいただき、親子や先生方とのつながりを深めていけたらと思います。	

# 親子ふれあいデー活動報告書(令和7年度)

単位PTA名:菊陽町立武蔵ヶ丘北小学校PTA

## 1. 予算執行状況(収入・支出)

<収入> 80,000円

(内訳)

- ・県P:20,000円(委嘱金)
- ・単P:60,000円

<支出> 79,690円

(内訳)

- ・門松:13,997円(竹、花材、飾り、備品、交通費等)領収書No.2~5,10,16~19,21,22
- ・しめ縄:64,693円(しめ縄、花材等)領収書No.1,6~9,11~14,20
- ・共通経費:1,000円(保険)領収書No.15

## 2. 活動内容・成果・反省

### しめ縄・門松づくり

- 日時:令和7年12月14日(日)9時~12時
- 場所:小学校正門・体育館
- 参加者数:81名(延べ)

### 内容

武蔵ヶ丘北小学校の門松づくりは毎年恒例の行事であり、地域の伝統行事として定着している。本年度も地域PTAサポーターの協力を得て実施した。事前準備として竹の切り出しや材料の手配を行い、当日は子どもたちがノコギリを使った作業や竹磨きを体験した。完成した門松は正門に設置し、新年を迎える準備を整えた。あわせて、特定の保護者の方を講師としてお招きし、用意されたしめ縄本体に飾り付けを行うしめ縄づくりも実施した。子どもたちは講師の説明を受けながら装飾を楽しみ、オリジナルのしめ縄を完成させた。

### 成果

- 門松づくり35名、しめ縄づくり46名が参加した。
- 子ども・保護者・地域・学校が一体となる交流の場を創出できた。
- 地域の方々と連携しながら一つの門松を作り上げることで、協力して物事を完成させる喜びや達成感を、参加者全員で共有することができた。
- しめ縄づくりでは、用意されたしめ縄本体に装飾を施し、色合いや配置を工夫しながら、オリジナルのしめ縄を完成させた。
- 子どもたちは、講師を担当した保護者の説明を受けながら主体的に作業に取り組み、完成時には大きな達成感と自信を得ている様子が見られた。
- 完成したオリジナルしめ縄は家庭に持ち帰ることができ、新年を迎える準備を、家族で楽しむきっかけとなった。

- 参加者からは、「地域と触れ合える貴重な機会」「可愛いしめ縄が作れてよかったです。お花のパーツを選ぶことができて楽しかったです」「今年もきれいなのができたねえ」といった声が寄せられた。

## 反省点

- 門松の準備物に不足があり、地域の方から一部ご提供いただいた
- 準備物の徹底について、次年度の検討課題とする

## 3. 今後の取り組みについて

本活動を通じて、学校・保護者・地域が連携することの重要性を再認識した。今後もPTAが中心となり、子どもたちの健やかな成長を支える活動を継続していきたい。

## 4. 要望・その他

本事業の実施にあたり、県PTAからの助成を受けたことで、より充実した活動を行うことができた。ご支援いただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。





# 親子ふれあいデー活動報告書

令和7年度

単位PTA名 ( 御船町立七滝中央小学校 )		児童生徒数 ( 72 ) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 単P	20,000円 円	(支出) ①「田んぼ借地」費用 ③太鼓技術指導講師代 ④「玉ねぎ植え」交通費
			5,000円 10,000円 5,000円
	合計	20,000円	合計 20,000円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
①「田植え」(5年児童)～「稲刈り」～「餅つき会」(5・6年生)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・6/21(金) 地域の方からお借りした田んぼで、地域の方のご指導のもと「田植え」を行った。</li> <li>・10/29(水) 地域の方々のご指導・ご協力のもと「稲刈り」を行った。</li> <li>・12/22(月) 保護者や青少年健全育成会議の協力も得ながら5・6年生が収穫したもち米で「餅つき」を行う予定である。</li> </ul>			
②親子美化作業			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月と8月に親子美化作業(4年以上の参加)を行った。5月は、感染症防止のために5年生は参加しなかったが、8月は、全員参加となった。汗を流して子供たちは、作業をしていた。</li> </ul>			
③伝統芸能の取組			
「能寛太鼓」(5年児童)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・9/14(日)「田代東部地区のふれあい祭」に参加して太鼓をたたいた。</li> <li>・11/30(日)「七滝元気まつり」に出演し太鼓をたたいた。</li> </ul>			
「新風太鼓『響』」(6年児童)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・5/11(日)の「七滝祭り」、6/5(木)の顕彰祭で太鼓を披露して、地域の方に喜んでいただいた。今年度は、別の会でも太鼓を披露する機会があったので、送迎でお願いした保護者にも大変、好評であった。</li> </ul>			
「寅舞」(獅子舞)の踊り(4年児童)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・9/25(水)に地域の祭りで4年生が「寅舞」を披露した。</li> </ul>			
④「玉ねぎ植え」(1・2年児童)～「玉ねぎ掘り」(翌年度2・3年児童)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・11/28(金) 地域の方からお借りした畑で、地域の方々のご指導のもと「玉ねぎ植え」を行った。来年度の5月に「玉ねぎ掘り」を行う予定である。</li> </ul>			
◎成果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々と「田植え」「稲刈り」「玉ねぎ植え」の体験活動をすることで、食と農の大切さや苦労・工夫を学ぶことができた。地域の方々と一緒に活動し、交流を深めることができた。</li> <li>・地域の祭で披露することで、日頃お世話になっている地域の方々に喜んでいただいた。また、児童にとっても、練習の成果を発表する場となり、達成感を味わえる機会となった。</li> </ul>			
◎反省			
<p>週休日にある祭り等は、保護者の参加も多いが、平日は、保護者の参加が少なくなってきたため、平日でも参加できる工夫を考えたい。</p>			
3. 今後の取り組みについて			
<p>今後も、できるだけ「ふれあい活動」を実施していきたい。</p>			
4. 要望・その他			
<p>児童にとって「自然体験活動」や「地域(家族)とのふれあい活動」等は大変価値のあるものだと考えます。今年度も2万円を助成していただき、心より感謝申し上げます。</p>			

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和7年度

単位PTA名 ( 益城町立木山中学校 )      児童生徒数 ( 270 ) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円 単P その他	(支出) 20,000円 (内訳: 水鉄砲レクリエーション費、講演会お礼)
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 ①PTA親子ふれあいレクリエーション クラスマッチ水鉄砲大会 生徒、保護者、先生との親睦を目的とし、暑い日を少しでも涼しく楽しく行えるレクリエーションを計画した。	
②PTA教育講演会 『親子で聞く「お金の話」』 肥後銀行から講師をお招きし、親子で楽しめるクイズや、お金のトラブルについて学べる寸劇を交えた公演を実施した。	
◎成果 ①レクリエーションは美化作業後そのままの流れで行えるようにした。事前にQRコードより参加の有無を募ったところ、参加率も多く、準備を進めていたが、当日雷予報のためやむを得ず中止となった。	
②講演会は、お金に関するクイズで盛り上がり、普段接する機会のない「一億円の重さ」や「二千円札」に実際触れたり、寸劇では生徒と先生が積極的に参加し、保護者も笑顔溢れる和やかな雰囲気で行われた。	
◎反省 ・レクリエーションに関しては天候に左右されたこと。準備をしていた水鉄砲など消耗品については、来年度の体育大会で使用するか、または、美化作業後レクリエーションをリベンジ開催するか等、意見を出し合って協議中である。 熱中症対策を万全に、参加者の安全を意識して取り組んでいくようにしたい。	
3. 今後の取り組みについて	
木山中学校は、保護者、先生、地域の方の協力が十分にあり、様々な取り組みにも積極的に参加していただけているが、昨今のPTA組織の状況も大きく変わっていく中で、誰もが無理のない範囲で参加できるよう、学校行事に合わせた活動スケジュールを設定するなど、運営の効率化を図りながらPTA活動に取り組んでいきたい。	
4. 要望・その他	
今年度親子ふれあいデー活動に委嘱していただき誠にありがとうございました。おかげをもちまして生徒、保護者、先生と貴重な時間を作ることができました。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。	

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和7年度

単位PTA名（宇土市立網田小学校PTA 人             ) <span style="float: right;">児童生徒数（ 81 ）</span>
<b>1. 予算執行状況（収入・支出）</b>
（収入） 県P 20,000円 単P 14,000円 その他10,000円 <span style="float: right;">（支出） 44,000円</span>
<b>2. 活動内容・成果・反省</b>
◎活動内容 当校では毎年学年別に保護者の学年委員が中心となり、焼き物や米作りなど地域の特性を活かした親子の取り組みを行っています。今年は県PTAの親子ふれあいデー活動助成金を活用し、タレントのもっこすファイヤーさんを招いて四年生を対象に漫才ワークショップを実施しました。お笑い芸人という仕事について学んだ後、子ども達が二人組で漫才を披露しました。また、親御さんや地域の方にも呼びかけ、子供達も普段の授業とは違う雰囲気の中で漫才を披露できました。
◎成果 ○テレビで見ているタレントの表の仕事と裏の仕事があるということが学べた。 ○お笑い芸人の苦労も学べていた。 ○人前で人を笑わせるということがいかに難しいか理解できたという感想があった。 ○発表が苦手な子が一番笑いを取れて、その後の人権集会も堂々と発表できていた。
◎反省 ○この取り組みが終わった後に知った保護者から「知らなかった。知っていれば行きたかった」と苦情があった。周知が足りなかった。 ○もっと時間を割いて、多くの児童が享受できる取り組みにしたかった。
<b>3. 今後の取り組みについて</b>
網田小学校は今回のように学年ごとの取り組みを始め、どんどや、田植え稲刈り、餅の販売など様々な取り組みを継続しています。学校全体の取り組みとしてこの事業は使えるということを知ったので、来年度も応募して、子供達のための事業を展開したいと思います。現時点での新しい取り組みとしては防災関係をやりたいと思っています。
<b>4. 要望・その他</b>
報告書の提出が遅くなりご迷惑をおかけしました。 特に要望はございません。 来年度もよろしく願います。

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和7年度

単位PTA名 ( 上天草市立登立小学校 )	児童生徒数 ( 166 ) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円	(支出) 材料費等 20,000円 (スーパーボール、ヨーヨー代、茶道お茶・菓子講師お茶代等) ※不足分は校友会費から補充
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容 「のびっこ祭り」の実施 日時：令和8年1月24日(土) 13:30～</p> <p>各団体の協力を得て、児童が多くの地域の方や保護者とふれあい、様々な活動を楽しんだ。「地域の子供は地域の宝」「地域の子供は地域で育てる」という気持ちを共有できた取組となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大矢野中学校美術部、上天草高校書道部による作品展示</li> <li>○上天草高校福祉科による福祉体験</li> <li>○老人会、民生委員、社会福祉協議会による昔遊び体験 (竹馬、お手玉、わなげ、独楽等)</li> <li>○グランドゴルフ協会によるグランドゴルフ体験</li> <li>○PTAによるスーパーボールすくい、ヨーヨー釣り体験、物品バザー、フォトコンテスト</li> </ul>	
	
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちは、福祉体験や茶道体験、むかし遊び体験など、日頃なかなかできない体験を、地域の方々とすることができ、とても楽しい時間を過ごすことができた。あまり話したことがない地域のお年寄りともお話ができ、よいふれあいの時間となった。</li> <li>・老人会や民生委員、社会福祉協議会、グランドゴルフ協会など多くの地域の方々に来校いただき、交流することができた。また、児童だけでなく保護者や教職員にとっても、地域の方々と交流するよい機会となった。</li> <li>・地域の中学校や高校、地域の方々の協力により、盛会のうちにのびっこ祭りを終えることができた。今回の催しを通して、「地域とともにある学校」の具現化を図ることができた。</li> </ul>	
<p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年PTA行事として開催しているが、持続可能な取組になるように負担がないように引きついでいきたい。</li> </ul>	
3. 今後の取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・のびっこ祭りは、次年度以降も継続して開催する予定である。協力を依頼する地域の中学校や高校、地域の各種団体との打ち合わせを早めに行い、PTA役員を中心に準備を進めながらより充実した催しとなるようにしていきたい。</li> <li>・PTA行事として、地域の方々に協力いただきながら子供たちのために体験活動を提供していただいている。昨年度より、子供たちが自ら計画した地域に貢献できる活動「ありがとうの会」を実施している。今後も、子供達の主体性、地域貢献への意欲を高めていきたい。</li> </ul>	
4. 要望・その他	
<p>本年度も、親子ふれあいデーの助成を受けることができ、大変感謝しております。</p> <p>今回の親子ふれあいデー活動の助成金により、充実した活動を行うことができました。今後も家庭、地域、学校が連携した活動が、さらに活性化していくように、ご支援をよろしくお願いいたします。</p>	

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和7年度

単位PTA名 ( 上天草市立姫戸小学校PTA ) 児童生徒数 ( 54 ) 人

## 1. 予算執行状況 (収入・支出)

(収入) 県P	20,000円	(支出) 20,000円	購入：大型スクリーン
単P	2,941円	2,941円	

## 2. 活動内容・成果・反省

### <活動内容>

- (1) 目的 創立150周年記念式典での児童発表(テーマ「築き 歩み そして未来へ」)等を通して、児童・保護者・地域の方との交流を深める。
- (2) 日時 令和7年11月1日(土) 10:30~15:00
- (3) 場所 姫戸小学校体育館及び運動場
- (4) 内容 第1部「記念式典」  
 ※昼食(婦人会による炊き出し)  
 第2部「ドローンによる記念写真(人文字)撮影」  
 第3部「記念公演(天草サーカス)」



- ・第1部では、小学校児童発表「学校誕生から現在までの歴史(学校名称や七六水害、塩水簡易プール等)や地域学校協働活動等の地域の特色を生かした取組、そして今後の未来(夢)について」を通して、笑いあり涙ありの参加された多くの方々が感動し記憶に残るものとなった。
- ・第2部では、地域住民約350名が参加し、ドローンによる記念写真撮影を行った。
- ・第3部では、天草ショーゴさん(他2名)のパフォーマンスに大盛り上がりであった。

### <成果>

- ・これまでの姫戸小学校の歩みや今後の姫戸町の未来について、スクリーンに映し出される映像をもとに、児童・保護者・地域の方々が一緒になって交流を深めることができたことは、本活動の目的に沿った取組の成果である。
- ・昼食時には、婦人会による炊き出し(豚汁、おにぎり)を食べながら、児童発表のことを話題にしなが親子で楽しい一時を過ごすとともに、地域の方々からの温かい励ましの言葉を聞くことができた。
- ・児童と保護者、地域住民(約350名)が協力したドローンによる写真(人文字)撮影では、参加者全員の連帯感が感じられふるさとを大切に、誇りに思う気持ちがより高まったように感じられた。



### <反省>

今回の活動では、全校児童で地域の方々への贈り物(花苗、お手製の紙袋)を準備し、式当日に帰られる方々へ手渡しを行った。しかし、会場の片付けの関係から、低学年児童がすべての参加者に手渡しをすることができなかつた。今後、地域貢献の際には、より詳細に見通しを持って計画、準備をする必要がある。

## 3. 今後の取組について

今回は、創立150周年記念事業を中心に取組を推進してきた。コロナ禍を経て、対面による活動が増えてくる中、PTA活動も積極的に取り組んできた。今後、児童数の減少に伴い、PTA会員数も減少すると考えられるため、PTA活動のあり方について検討する時期に来ていると感じる。しかしながら、姫戸町の特色である「地域と学校の連携・協働」を意識した活動については、今後更に地域の方々との交流の場を大切にしていきたい。

## 4. 要望・その他

令和7年度「親子ふれあいデー活動」の委嘱を受け、本年度においては、創立150周年記念事業と関連付けた取組を進めてきた。令和5年度からの3年間、PTA全会員による活動や各学年による活動に継続的に取り組んでおり、親子のふれ合いや地域の方々との関わりも充実してきた。ぜひ、今後も本事業(親子ふれあいデー活動)を積極的に活用し、「親子のつながり」「地域の方々とのつながり」を更に深め、特色ある活動を推進していきたいと思う。

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和7年度

単位PTA名 ( 天草市立楠浦小学校 )		児童生徒数 ( 93 ) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 20,000円 単P 4,600円 保護者負担金 8,900円 *保護者、児童宿泊費等	(支出)	製作在留費 5,179円 コミセンお礼 1,504円 食費等 22,495円 エアコン代 4,300円
	合計 33,500円		合計 33,478円
※残金22円は卒業記念品の購入費用として使用			
2. 活動内容・成果・反省			
令和7年8月9日(土) 14:00～令和7年8月10日(日) 8:30			
◎活動内容			
天草市楠浦町コミュニティセンターにおいて、親子ふれあい活動を行った。			
1日目	(1) 開会式 (活動内容説明 施設説明)		14:00
	(2) 製作活動 (親子でつくるコースター)		14:30
	(3) 夕食づくり (カレー、サラダ)、会食		16:00
	(4) 片付け		18:00
	(5) 室内遊び、ビンゴ大会		19:00
	(6) 就寝		21:30
2日目	(7) 解散式 感想発表		8:00
◎成果			
親子一緒に楽しく活動し、みんな笑顔いっぱい忘れられない思い出となった。また、保護者からは、子どもたちが協力し合って頑張っている姿を見ることができてよかった、親子ともにとってもよい時間を過ごすことができてよかったなどの感想が多かった。子どもたちも協力することの大切さを学び、これからの生活に生かそうという意欲を高めることができた。			
毎年、学校のPTAからも、わずかな助成を行っているが、今年も昨年度から引き続き多くの助成をいただき保護者の負担が減少した。			
◎反省			
今年度は、楠浦町コミュニティセンターを宿泊施設として利用することができた。立地的にも参加しやすい場所だったので、次回からも利用したいと思う。			
3. 今後の取り組みについて			
来年度も親子レクリエーションを計画し、児童と保護者にとって楽しく思い出に残る活動を計画したい。			
4. 要望・その他			
多くの金額の助成をいただき、学年PTAレクリエーションがたいへん充実した活動となりました。ありがとうございました。			

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和7年度

単位PTA名 ( 天草市立倉岳小学校 ) 児童生徒数 ( 62 ) 人	
<b>1. 予算執行状況 (収入・支出)</b>	
(収入) 県P 20,000円 単P 42,000円	(支出) 62,000円
<b>2. 活動内容・成果・反省</b>	
◎活動内容 子ども・保護者・担任が参加し体験を通して親睦を深めることを目的とした活動。内容は、学年委員を中心に保護者と学年担任で決定する。 1年生: ニュースポーツ体験                      4年生: 黒島(無人島キャンプ場)での磯遊び 2年生: 親子でお弁当を作ろう会              5・6年生: 親子ボウリング大会 3年生: 親子でクッキング	
◎成果 各学年の特色を活かした活動内容で、子どもと保護者と担任が共に楽しめる体験活動を行うことができた。活動を通じて、子ども達の学校での学びや経験を家庭と共有する機会となり、教育活動への理解にもつながった。また、地域施設を活用したことで、地域についての学びを深めることができ、学校・家庭・地域が連携する意義を改めて確認する場ともなった。	 <p>初めてのニュースポーツ</p>  <p>クレープ作りに挑戦</p>
◎反省 昨年度は他学年間での日程調整に苦慮したが、その反省を踏まえ、今年度は4月の段階で学年委員による情報交換の場を設けたことで、日程および内容を円滑に決定することができた。さらに、今回初めて二学年合同での活動を実施したところ、保護者から好評を得られた。今後は複数学年での活動におけるノウハウを蓄積・共有し、より効果的な運営につなげていきたい。	
<b>3. 今後の取り組みについて</b>	
子ども・保護者・担任が共に体験を重ねる貴重な機会を、今後も積極的に支援していきたい。例年の活動についても、単なる義務的な取り組みとならないよう工夫を凝らし、内容のマンネリ化を防ぐことを目指す。その一環として、親子と地域の方々との交流を取り入れ、誰もが楽しく参加できる企画や仕組みづくりを進める。	
<b>4. 要望・その他</b>	
中間報告会では、他校の実践や工夫を伺うとともに、保護者や先生方と意見交換・情報交換を行うことができ、今後の活動に生かせる多くの学びを得ました。単位PTA会員にとっても県PTAの取り組みを身近に感じられる、大変意義深い事業だと感じます。今後ともぜひ継続していただきたい事業です。このたびは助成をいただき、ありがとうございました。	

## 学 年 活 動

【一年生】



六月十五日、倉岳小学校体育館にて、「ニュースポーツ」を楽しみました。各兄弟も参加していただき、総勢三十名の参加となりました。まずは、三つの種目を三班に分かれて体験しました。各十分ずつの体験でしたが皆の適応能力が高いのか、道具の使い方もすぐ慣れ、楽しくプレーできました。後半は、「ボールの代わりにフリスビーを使う「ドッチビー」をして汗びっしょりになって楽しみました。皆様の協力ありがとうございました。

【二年生】



七月五日(土)、小学校家庭科室にて、「親子でお弁当を作ろう会」を実施しました。「おにぎり・卵焼き・ウインナー・芋もち・野菜の肉巻き・枝豆」を子供たちが中心となり作りました。野菜の皮むき、飾り切り、卵焼きを作るなど、いろいろな工程を体験させ、苦戦しながらも保護者の方と一緒に楽しく調理ができました。各家庭の味付けやアイデア、子供たちのいろいろな情報交換もでき、とても充実した時間でした。自分の弁当箱に好きなように具材を詰めてもらい、飾り付けをして、個性あるおいしそうな弁当ができました。子供たちが「楽しかった!おいしかった!」と言ってくれ、今後家庭でのお手伝いや親子のふれあいが増えるきっかけになればいいと思います。先生や保護者の方には暑い中ご協力いただき、ありがとうございました。

【三年生】



六月二十九日(日)、棚底コミュニティセンターを借りて「親子でクッキング」をしました。メニューは、カレーとスープ、デザートにクレープとしました。作る物はクジで決めて分かれて作りました。男の子達は、野菜と自分の指(ー)を切るとテーブルセッティングに行き、女の子達は、自分のところが終わるとクレープの皮を焼くのをみながら手伝ってくれました。クラスの間結力を見ることができました。保護者の方からも「家では、なかなか一緒に料理をする機会がないのでよい機会でした。」という言葉をいただき、この企画でよかったと思えました。楽しく過ごせてよい思い出になりました。

5・6年生「合同ボウリング大会」

8月31日(日)予定

親子対決!!勝敗の行方は...?!

4年生「黒島での磯遊び」

7月20日(日)予定

海で思いっきり夏を満喫してくださいね。



# 親子ふれあいデー活動報告書

令和7年度

単位PTA名 ( 佐伊津小PTA )	児童生徒数 ( 159 ) 人
--------------------	-----------------

1. 予算執行状況 (収入・支出)				
(収入)	県P	20,000円	(支出) 講師謝礼	5,000円
	単P	6,195円	学年活動費	21,195円
	その他			

## 2. 活動内容・成果・反省

### ◎活動内容

#### ○「PTA親子講演会」

日時 12月5日(金) 授業参観後(14:05~14:50)

講師 矢田智美様(元エアロビック競技日本代表、熊本県エアロビック連盟 理事)

演題 「レッツ・エアロビックダンス」

内容 エアロビクスの様々な動きを音楽に合わせて親子で楽しむ。

#### ○学年活動

- 1年 親子レクリエーション 6/8(日)
- 2年 工作と運動遊び 6/7(土)
- 3年 ドッジボール 10/12(日)
- 4年 押し相撲、ドッジボール 9/20(土)
- 5年 ニュースポーツ 6/22(日)
- 6年 学校お泊まり会 7/26(金)~27(土)

### ◎成果

#### ○「PTA親子講演会」

2人組で行う動きもあり、親子で運動に親しむきっかけづくりになった。



#### ○学年行事

1年 天草青年の家に講師を依頼したので準備もいらず、いろいろなレクリエーションを通して家族間でも交流をすることができた。

2年 他の学年は運動が多かったなので、運動だけでなく工作活動も行い、親子で作品を完成させることができた。



3年・5年 児童が司会進行も行い、児童主体の楽しい会にすることができた。



6年 教室へのテント設営、夕食のカレーづくり、校内での肝試しなど、見慣れた教室での非日常の体験を親子で楽しく行うことができた。



#### ◎反省

##### ○「PTA親子講演会」

運動量もあったので、児童は体育服で参加できるように連絡をしておいたほうがよかった。

##### ○学年活動

- ・学年活動への助成費を増額してほしいとの要望があったので、執行委員会で検討して、予算の増額を決めた。（新年度の総会での承認を経て、執行予定）
- ・日程調整を早めにした方がよい。
- ・行事（相撲大会）と同じ日の午後に行ったので、疲れている子が多く、欠席もあった。行事と同じ日は避けた方がよい。（4年）



### 3. 今後の取り組みについて

- 親子でのふれあい活動がさらに充実していくよう、次年度はPTA会計の予算を増額して取組を行っていく予定である。
- 次年度は学年活動の様子について、活動後すぐにPTAだよりとしてスクリレで配信する。今後の学年活動の内容を決定していく際の参考資料となるようにする。

### 4. 要望・その他

- 令和8年度も「親子ふれあい活動デー」の募集に応募する予定。助成金を有効に活用しながら親子間・家族間の親睦を深めていきたい。

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和7年度

単位PTA名 ( 芦北町立湯浦中学校PTA )		児童生徒数 ( 133 ) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県 P : 20,000円 単 P : 14,750円 その他 : なし 計 34,750円	(支出)	褒賞(QUOカード) : 33,650円 通信費(CS委員返信用) : 1,100円 計 34,750円
2. 活動内容・成果・反省			
<p>◎活動内容</p> <p><u>PTA家庭教育部事業「夏休み川柳」</u></p> <p>◇お題：『親から子へ、子から親へ、夏休み川柳』</p> <p>◇生徒と保護者を対象に、夏休みの取り組みとして実施</p> <p>◇審査で公平性を保つために、作品は名前ではなくクラスと出席番号を記載して提出</p> <p>◇生徒の部は【①学校教諭・②PTA執行部・③PTA家庭教育部・④学校運営協議会】、保護者の部は【生徒会】で審査を実施。褒賞として大賞・準大賞・入賞を設定</p>			
<p>◎成果</p> <p>◇応募数：生徒の部・・・69作品、保護者の部・・・23作品</p> <p>◇共通テーマを設けて川柳を募集し、親と子が互いの存在に目を向ける機会になった。また、賞を設けて、選考・表彰・作品の紹介を行うことで、他者の作品に触れ、共感することが多かったようだ。</p> <p>◇審査では、地域住民代表として学校運営協議会の皆さんに依頼し、快く引き受けていただいた。</p> <p>◇選ばれた作品は、11/21の湯浦中学校の合唱コンクール・学習発表会の際に体育館に掲示し、観覧してもらった。この日は、湯浦中学校区として芦北町合併20周年記念事業を湯浦中学校で行っており、同中学校区の2校の小学校から5・6年児童が集い、また保護者だけでなく地域住民も自由観覧できる会だったため、多くの人々に作品を見てもらう機会になった。</p> <p>◇選ばれた作品の掲示は、部門ごとに行い、誰の作品か特定されないように配慮した。</p>			
			
		▲11/21 体育館の壁面に作品紹介	
<p>◎反省</p> <p>◇作品を提出する際に出席番号を間違えている生徒がおり、確認作業が必要だった。</p>			
3. 今後の取り組みについて			
<p>◇今回の夏休み川柳は、思春期の中学生や忙しい保護者にとって、「面倒だな」と感じ取る方もいたかもしれないが、敢えて親子で互いに目を向けてみる機会になっていたと思う。今回は熊本県PTA連合会からの委嘱を受けたことで多くの賞を設けることが出来たが、委嘱がない場合にどのような取り組みを目指していくべきかをPTAで検討していきたいと思う。</p> <p>◇学校と地域の連携が注目される昨今、学校や地域全体で一緒に取り組めるような活動は積極的</p>			

に進めていきたい。今回はPTA活動ではあったが、スムーズな連携のためにも、日頃からPTA自体も学校の先生方や地域住民の皆さんとコミュニケーションを取り、地域全体が活性化するように子ども達のために良好な関係を築いていきたい。

#### 4. 要望・その他

- ◇令和7年度親子ふれあいデー活動を委嘱していただき、大変感謝しております。おかげさまで安心して充実した活動を実施することが出来ました。
- ◇周知方法や時期、学校・PTA側の把握状況が課題だと思いますが、本委嘱事業を知らない学校・PTAもあるようです。(中間報告会のグループワークで話題になりました)

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和7年度

単位PTA名 ( 人吉市立人吉東小学校PTA ) 児童生徒数 ( 418 ) 人

## 1. 予算執行状況 (収入・支出)

(収入) 県P 20,000円

(支出) ほこすぎフェスタ観覧イベント出演者への謝礼

5000円×4団体

合計20000円

## 2. 活動内容・成果・反省

### ◎活動内容

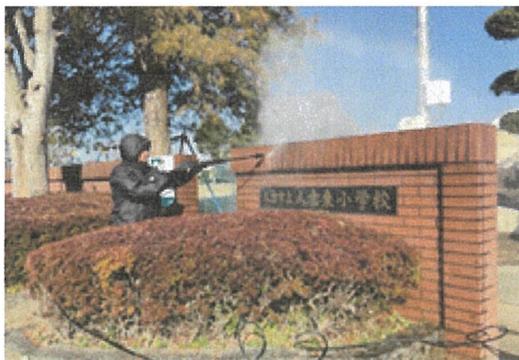
#### ① 挨拶運動

学期始めの1月、4月、8月は連続で3日間と毎月の初日に、わくわくサポーターの方や地域の民生委員、児童委員の方々とPTA役員と一緒に挨拶運動を行っている。



#### ② 親子美化作業

運動場の草取りや校舎の窓拭き等を見童、保護者、学校職員で行った。創立150周年記念を目前に控え、地域の方々にも協力していただき、校門の泥や苔を落としていただいた。



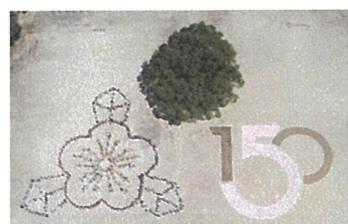
親子美化作業の草取りできれいになった運動場となかよし広場(現在創立150周年記念で改修中)

### ③ほこすぎフェスタ(創立150周年記念 地域団体観覧イベントステージ開催)

令和7年12月13日(土曜日)に人吉東小学校の校区にゆかりのある各団体(人吉第一中学校吹奏楽部・鬼木町臼太鼓踊り保存会・人吉ねぶか太鼓・人吉よさこい銀翔会)に出演していただいた。



人吉東小学校創立150周年記念マスコットキャラクター東っちです



創立150周年記念 空撮

#### ◎成果

- ①挨拶運動は、地域や学校、家庭など、人と人のつながりを深めることができ、防犯や非常時のコミュニケーションを円滑にし、子供たちの元気な1日をスタートさせることにつながっている。
- ②子どもの心に、学校への感謝の気持ちが育ってきている。創立150周年記念ということもあり、地域の方々に協力していただき、手作業ではできない箇所もきれいにする事ができた。
- ③ほこすぎフェスタ初めての観覧イベントを計画し、地域の中学生、団体に出演していただいたことによって、全体を例年以上に盛りあげて、楽しい空間にしていただいた。団体の方は、ほとんどが本校の卒業生、保護者、在校生であったこともよかった。この観覧イベントを開催したことによって、親子ではもちろん、たくさんの地域の方にも来ていただき楽しんでいただいた。

#### ◎反省

③については他の取り組みが、学校全体で行われているのと同進行だったため、ステージ前の観客が少なくなってしまった。事前に学校周辺の方に、音が聞こえてきますという周知文書を配布した際に、観覧イベントのチラシも同封し、地域の方に広く周知をすることで、たくさんの方に来ていただけたのではないかと思います。

### 3. 今後の取り組みについて

今後も毎月の挨拶運動、年に2回の親子美化作業を行っていく。ほこすぎフェスタでは、創立150周年を記念して観覧イベントを行ったが、今後は学校、保護者、地域の方々と、色々な意見や知恵を出し合いながら、PTA活動をすすめていきたい。そして、地域の方々への感謝を何かの形で伝えていけるようにしたい。

### 4. 要望・その他

親子ふれあいデー活動の助成をいただいたことで、学校、保護者、地域の方々との繋がりが持て、とても素晴らしい活動ができた。今後もぜひこの事業を続けていただきたい。

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和7年度

単位PTA名（ 人吉市立東間小学校PTA ）		児童生徒数（ 275 ）人	
1. 予算執行状況（収入・支出）			
（収入）	県P 20,000円 単P 4,120円	（支出）	花苗代（バザー品）：9,120円 ゾーブボールレンタル代：15,000円
（合計）	24,120円	（合計）	24,120円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
「あいフェス～藍・愛・逢～2025」			
1	日時	12月12日（金）13：15～16：00	
2	場所	東間小学校 校内	
3	参加者	東間小学校の児童、保護者、先生、地域の方々	
4	内容	PTA保護者が児童、地域の方々向けに様々な体験型イベントを企画し、児童が東間小学校オリジナル通貨「トークン」を使用して自ら興味があるイベントを体験する事を通して保護者、地域の方々との交流を図る。	
◎成果			
どのイベントも日頃体験できないような内容で、児童、保護者、地域の方々が共に楽しめる「あいフェス」を実施することができた。また前回に引き続き、地域の事業所の方々にも御協力いただき、児童が様々な人々とふれあい、活動等を共有し児童の学校、地域を愛する心情を育てるとともに、地域の活性にも寄与することができた。保護者と学校の協力体制がしっかり取れている東間小学校ならではの催しとなった。			
◎反省			
「あいフェス」は2回目の開催である。今回は平日開催ということもあり、保護者の参加やお手伝いの協力が少なかったため各イベント担当者の、一人当たりの仕事量が多かった。またBGMのボリューム調整や、アナウンスのタイミング等に改善の余地があったので次回の検討課題とする。			
3. 今後の取り組みについて			
今後も（東間小学校PTAスローガン「繋」～はじめの一穂）を軸に児童、学校、保護者、地域の方々と合同活動を継続させ、児童が様々な人々とふれあい活動等を共有することで、さらに児童と保護者の地域を愛する心情を育て地域の活性に貢献して行きたい。			
4. 要望・その他			
  			

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和7年度

単位PTA名（ 人吉市立第一中学校PTA ）		児童生徒数（ 383 ）人	
1. 予算執行状況（収入・支出）			
（収入）	県P 20,000円 単P 37,683円	（支出）	門松材料費 44,898円 つぼん汁材料費 12,785円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
<u>あいさつ運動</u> ・毎月月初めの5日間、中学校の正門前でPTA役員、学年委員及び教職員があいさつ運動を実施し、生徒の登校の様子を見守った。			
<u>門松づくり</u> 【実施日 令和7年12月6日（土）】 ・学校支援ボランティアの協力を得て、PTA役員、教職員及び生徒会執行部で、中学校の正門前に一對の門松を作成した。			
<u>つぼん汁づくり</u> 【実施日 令和7年12月6日（土）】 ・門松づくりと同時進行で、家庭教育委員会、教職員及び生徒会執行部で、人吉球磨地方の郷土料理であるつぼん汁を作った。			
◎成果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動では、挨拶や声かけ、登校時の見守りを通して、保護者と生徒との貴重なふれあいの場となった。</li> <li>・門松、つぼん汁づくりを通して、伝統行事や食文化にふれ、地域文化理解を親子で深めることができた。</li> <li>・昨年度よりも保護者や学校支援ボランティアの参加人数が増え、サポート体制が充実したため、より子どもが主体の活動となった。</li> </ul>			
◎反省			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「門松づくり」と「つぼん汁づくり」を同日開催したが、人数や作業工程の違いから、終了時刻に差が出てしまった。集合時間を変更したり、人数の割り振りや作業分担をしたりすることで改善していきたい。</li> </ul>			
3. 今後の取り組みについて			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動、門松、つぼん汁づくりは、恒例行事となりつつある。今後も継続して実施していきたいと考えている。</li> <li>・学校と地域が連携し協働して取り組む行事の一つとして定着しつつある。今後は、地域のボランティアのサポートを受けるだけでなく、学校から地域へと還元できる取組を進めていきたい。</li> <li>・今後も他校の取り組み事例を参考にして、生徒と保護者、地域の方々がふれあうことができる取り組みを工夫しながら進めていきたい。</li> </ul>			
4. 要望・その他			
令和7年度「親子ふれあいデー活動」の委嘱を受け、生徒及び保護者、地域の方々との貴重なふれあいの場の一つとして設定することができている。あいさつ運動は、今後も参加の呼びかけを継続し、親子の繋がり、地域との繋がりを深めていきたい。			

# 親子ふれあいデー活動報告書

令和7年度

単位PTA名 ( 岡原小学校PTA )	児童生徒数 ( 105 ) 人
---------------------	-----------------

1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円	(支出) 20,000円 (各行事の活動費)

## 2. 活動内容・成果・反省

### ◎活動内容

#### 1 PTA親子学年行事

##### (1) 1年親子行事「ドッチビーとしっぽとり」

1年生は体育館でドッチビーとしっぽとりを行った。ドッチビーは運動会赤組親子チームと白組親子チームで対戦を行い、しっぽとりは親チームと子チームに分かれて対戦した。ドッチビーでは、他の親子と協力し合って活動したことで、普段関わることが少ない友達のお父さん・お母さんと知り合える機会となった。また、しっぽとりは、親同士で知り合う機会となった。子どもにとって楽しく、親にとってはリフレッシュできた時間となった。



##### (2) 2年親子行事「ガラス工芸体験」

2年生は、人吉市にある石野公園で「ガラス工芸体験」を行った。職人の説明を聞きながら親子で世界に一つだけのガラス細工のキーホルダーを作成した。親子でキーホルダーのデザインを考えたり、協力したりして作成した。協力して作業することで、親子のコミュニケーションが深まった。



##### (3) 3年親子行事「ドッジボールとバーベキュー」

3年生はドッジボールとバーベキューを行った。ドッジボールは運動会赤組親子チームと白組親子チームで対戦を行った。その後、バーベキューを行った。これまで友達との親子と話す機会があったが、ゆっくり話す機会はなく、一緒に体を動かしたり、食事をしたりしたことで会話が弾み、自他の親子のふれあいが深まった。



##### (4) 4年親子行事「田んぼの学校inこうのみぞ」

4年生は、校区を流れる世界かんがい施設遺産に登録されている幸野溝について親子で体験学習する学年行事を行った。水土里ネット幸野溝が主宰の「田んぼの学校inこうのみぞ」に参加し、幸野溝を親子でゴムボート下りを体験したり、幸野溝の歴史や役割についての説明を聞いたりした。一緒にボートに乗った家族同士で会話が弾んだり、昼食のお弁当を食べながらボートに乗った感想を話し合ったりする姿が見られ、地域に残る文化財や歴史を学ぶ機会となった。



##### (5) 5年親子行事「カヌー体験」

5年生は水上村にある市房ダム湖でカヌー体験を行った。インストラクターによる指導のもと、親子で息を合わせてパドルを漕いでダム湖を一周した。美しい自然環境を見ながら、親子一緒にカヌーを操作することで、自然と会話が弾んだ。また、一緒にパドルを漕ぐという協力作業を通じて、親子の絆が深まった。参加した親子にとって地域の自然を体験する貴重な機会となった。



(6) 6年親子行事「ニュースポーツ体験とバーベキュー」

6年生はニュースポーツ体験とバーベキューを行った。ニュースポーツとしてモルックとペタンクを行ったが、年齢・体力関係なく誰もが楽しめる活動であったので、参加者の誰もが楽しむことができた。その後のバーベキューでは、親子の会話に加えて、保護者同士も顔を合わせ、情報交換できる機会ともなった。



2 門松づくり

6年生が地域の伝統文化である「門松づくり」とおして、保護者や地域の方と交流を深めた。参加した6年生の児童たちは、保護者や地域の造園業者の補助を受けながら安全に作業し、立派な出来栄の門松を完成することができた。身近にある日本の伝統文化を感じる体験となり、学校の正門などに自分たちが作った門松が飾られることで、学校に対する愛着や誇りを感じるきっかけになった。また、保護者が小さかった時の門松づくりについて子供たちと話しあうなど親子のふれあいも深まった。



◎成果

- 親子で協力したりして作成したことで、親子のコミュニケーションが深まった。
- 親子の会話に加えて、保護者同士も顔を合わせ、情報交換できる機会ともなった。
- レクリエーションは、子どもにとって楽しく、親にとってはリフレッシュできた時間となった。
- 門松づくりは、PTA役員と6年児童の交流の場となっているとともに、伝統行事への関心を高める機会にもなっている。

◎反省

- 多くの人に参加しやすく、充実した活動になるような内容を今後も検討していく。

3. 今後の取り組みについて

- 予定していた親子活動が全て実施できた。今年度の反省等を来年度に生かしたい。

4. 要望・その他

- 親子ふれあいデー活動の助成をいただいたとで、家庭・学校・地域が一体となった活動ができた。今後も、この事業を続けていただきたい。

令和7年度ふれあい活動委嘱事業  
親子ふれあいデー活動

令和8年3月17日発行

熊本県PTA連合会

会	長	田尻	清孝
家庭教育担当副会長		後藤	亮
家庭教育委員長		川畑	愛子